

R21028_本部供養会ご指導

始めに 10 月 12 日妙智會開教七十周年、ありがとうインターナショナル設立三十周年を記念しての、物故者報恩供養を皆さまと共にさせて頂きありがとうございました。

人間は、心の悪い事、身体での悪い事の他に、口での悪い事が仏教（教典）には書かれております。わざわざ口だけを 10 の悪の中の 4 つの悪い行いという事で、目でもなく、頭でもないのです。口だけが別になっている。ここが大事な事なのです。

今、医学の研究が進んでいるのは、歯周病菌が認知症の原因だという事がわかって来たそうです。歯周病菌というのは身体の中に入っていくと、菌が全体回って脳に行くと、アルツハイマーの認知症になる事がわかってきたそうです。だからこれはやはり、10 の悪い中の 4 つはわざわざ口というふうに仏教でいっている事と私は関連付けて話をしているのですけど。

口ってというのは怖いなって思いました。

そして、会主さま大導師さまの今日までのご指導の中から、口に関しての指導を、皆さんに例えながら今から話をします。

皆さん「心」って、私はよく言います。心って言うと、口に出さなくても霊界に通じると思うのですね。これは大きな勘違い。

実際、お経にしたってそう。懺悔、感謝、すべて口に出さなければ意味がないのです。悪かったら悪かったと口に出さなきゃいけない。

大導師が発露の懺悔、大事だとおっしゃったのはここです。言わなきゃ霊界には届かないのです。だから大導師はお山での「お題目を大きな声でハッキリと」とおっしゃったのです。だから苦しければ苦しいほど口に出せと言ったのは、ここですから。

会主さまは「感謝があるならば口に出せ」とおっしゃいました。

ハイもそう。口に出さずにハイ！と言ったって霊界は受け取れません。よく会主さまが「なんて言っているの？はっきり言いなさい」とご指導でおっしゃっていたのは、その相手の心を霊界につなげるためであって、自分が聞こえないからじゃないのです。でも、修行していない人ほど口籠もるのです。ごめんなさいも言えなくなっちゃうのですね。

先ほど言った、悪い事というのが4つあるわけですけど、簡単に言うと、ひとつは二枚舌みたいな事しちゃいけないっていうね、『両舌』って言うのですけれども。更に仏教では、自分がこっちの人とこっちの人に嘘ついてとか、喋った事で、こっちとこっちの人が喧嘩させる事が罪だというふうに、ちゃんと書かれている。二枚舌だけじゃない、二枚舌によって仲違いさせることが悪いというふうに書かれている。喧嘩した姿見て、やぁね喧嘩して。そういう人間がいます。それが大きな罪だよという事に気がついてないのです。

もうひとつが当然だけど『嘘つく』事。もうひとつが『言葉で着飾る』事。できもしないのにやりますとか、嘘つく事。そして見栄体裁で着飾る事。これもよくないよと言っています。

もうひとつは、『悪い言葉を発する』事、相手を脅かしたり怖がらせたりする言葉、それをしてはならない。

今申し上げた悪い事によって、心と身体の関係性が変わってくると言っているんですよ。ここすごい所なのです。わかりますか。

心と、身体、口以外の身体を、橋渡しは口だと書かれるのですよ。だから先ほど言ったように、懺悔、感謝という心の表れを口に出す事によって、身体が良くなるのですよ。

会主さま大導師さまが、懺悔をすると身がきれいになるから、身体も良くなるとおっしゃったのはここなのです。それには口を使う、という事なのです。逆に言うと、口を使わない修行は、心と身体が一

致しなくなるって事です。橋渡しを使わないから。だから口に出すってことは大切だと、今言った悪い行いを改めれば、心も良くなるし身体も良くなるというふうに、仏教でも、そして会主さま大導師さまのご指導の中でも、度々我々は教えを頂いているのです。

お経も、いろんな事情で声をあげられない環境の方もいる。大声じゃなくてもいい、できるだけ口に出して朝夕あげる、お題目唱える、懺悔、感謝をする、それによって、心と身体がひとつになるわけです。

口というのがとても大切だという事が、仏教でも妙智の教えでも我々は学ばなければいけない。すごいなと思うのが、仏教も妙智の教えも先行っているの。後から医学的、科学的な事がついてきている。

もう本当に、妙智會やっていてよかったなと思います。

だから今日から皆さん、こうやってマスクしなければいけないような世の中になったという事は、心と身体を仲違いさせようという因縁だよ。だってお経この場で声出せないのだから大きな魔だよ。ね。

人と会えないから、懺悔もできない。感謝も表せられないという事は、今言ったこの口を使わない環境になってしまった。心と意と、身体が別々のものになりつつあるという事です。恐ろしいですよ。ね。

人間関係の中でやっぱり一番大事なのは、やっぱり言葉なわけでしょう。皆さんが支部長さん役員さんに、そして信者さんに伝えるのも口ですからね。その口によって、関係性が変わって来ってしまうわけ。難しいのは、良かれと思って言った事も仇になる場合があるでしょう。それは先ほど言ったような、心と意と身体が別物になっている時にしゃべっちゃっているから、災いになっちゃうのですよ。ね。

もちろんマスクしている中で、なかなか難しいのはわかるけども、できるだけやっぱり発するという事が大事だという事を、今日もう一度再確認して頂いて、行って頂ければなというふうに思います。

どうもありがとうございました。